

試験開始の合図があるまで、問題冊子さっしを開かないでください。

令和8年度 第10回しらかわ検定

2級 問題冊子

(問題数50問 試験時間50分)

注意事項じこう

- 1 試験中は受験票、筆記用具、時計（通信機能きのうのないもの）及び飲み物（水筒、ペットボトル等）以外は全てかばん等にしてしてください。
- 2 携帯電話けいたいはマナーモードにするか、電源でんげんをお切りください。
- 3 問題冊子は、25ページあります。印刷が不鮮明ふせんめいであったり、ページが不足していたりする場合や、解答用紙かいとうの汚れ等よごに気づいた場合は、手を挙げて係員にお知らせください。ただし、問題に関する質問しつもんにはお答えできません。
- 4 解答は、解答用紙の1から4の数字のうち、正答と思われる番号一つに丸を付けてください。

例えば【第1問】に対して「1」と解答する場合は、次の（例）のように解答用紙に丸を付けてください。

（例）

第1問	①	2	3	4
-----	---	---	---	---

- 5 解答用紙に正しく丸が付けられていない場合や二つ以上に丸が付いている場合は、不正解とします。
- 6 不正行為こういを行った場合は、その時点で受験を取りやめ退室たいしつしていただきます。
- 7 不明な点がある場合や、体調不良やトイレでやむを得ず席を立つ場合は、手を挙げて係員にお知らせください。

【第1問】

しらさか かくにん しらかわ いせき
白坂地区で確認された白河で最も古い時代の遺跡は、どれですか。

- | | |
|--------------------|------------------------|
| ① しもくろかわ
下黒川遺跡 | ② みなみほりきり いせき
南堀切遺跡 |
| ③ いちり だん
一里段A遺跡 | ④ てんのうやま
天王山遺跡 |

【第2問】

たいしん まちやいせき
大信地域にある「町屋遺跡」で出土したもので間違っているものはどれですか。

- | | |
|---------------------|----------------------|
| ① こくようせき
黒曜石 | ② ひすい
翡翠 |
| ③ じょうもん ど き
縄文土器 | ④ せきせいもぞうひん
石製模造品 |

【第3問】

おもてごう 表郷地域にある「たき もり いせ き 滝ノ森B遺跡」で発見された「じんめんつきやよい ど き 人面付弥生土器」について、正しいのはどれですか。

- ① 皿の底に人面がひょうげん 表現されている
- ② つぼ 壺の側面を一周するように人面が表現されている
- ③ こつつぼ 骨壺として用いられたと考えられている
- ④ 国の重要文化財に指定されている

【第4問】

下の文章の（ ）について、当てはまるものはどれですか。

ご か 五箇地区において発見されたごうぞくきょじゅうあと ぜんぼうこうえんふん やまとちょうてい 豪族居住跡や前方後円墳は、大和朝廷から
にんめい 任命された「白河（ ）」に関わる遺跡であると考えられている。

- ① くのにみやつこ 国造
- ② しょうぐん 将軍
- ③ しゅご 守護
- ④ じとう 地頭

【第5問】

白河の古墳時代の遺跡について、間違っているのはどれですか。

- ① 建錚山祭祀遺跡は、豪族が神や精霊に対し様々な願い事を行った場所と考えられている
- ② 筑内古墳群では、福島県内で2例目の埴輪棺墓が発見されている
- ③ 野地久保古墳は、全国でも珍しい上円下方墳である
- ④ 岩越二郎は、下総塚古墳の発掘に携わった

【第6問】

下の文章の（ ）について、当てはまるものはどれですか。

舟田地区にある下総塚古墳は、東北地方の後期古墳としては、最大規模の

全長71.8mの（ ）である

- ① 方墳
- ② 円墳
- ③ 前方後円墳
- ④ 前方後方墳

【第7問】

次の文章の（ ）に当てはまる語句は何ですか。

な ら へいあん むつのくにしらかわぐん げんざい
奈良・平安時代の白河は、陸奥国白河郡に位置づけられており、現在の
しらかわし にししらかわぐん ひがししらかわぐん いしかわぐん
白河市、西白河郡、東白川郡、石川郡、（ ）にまで及んだ。

① いわき市

② みなみあいづまち
南会津町

③ とちぎけんなすまち
栃木県那須町

④ いばらきけんだいごまち
茨城県大子町

【第8問】

みなもとのよりとも げんぺいかっせん おうしゅうかっせん てがら しらかわのしょう
源頼朝に従って源平合戦や奥州合戦で手柄を立て、白河荘を与えら
れた人物は誰ですか。

① ゆうきともみつ
結城朝光

② みなもとのよしつね
源義経

③ おやままさみつ
小山政光

④ ふじわらのやすひら
藤原泰衡

【第9問】

次の文章の（ ）に当てはまる語句は何ですか。

南北朝時代、結城宗広は（ ）天皇に味方し、南朝方の武将として各地を転戦しました。

- ① 後醍醐 ② 後白河 ③ 安徳 ④ 神武

【第10問】

白河結城家文書について、間違っているのはどれですか。

- ① 『白河結城家文書』は国指定重要文化財である
② 白河結城家に代々伝えられた90通からなる古文書である
③ 最も古い文書は、文永元年（1264）に書かれたものである
④ 「稲村御所足利光貞御内書」は、宿紙に書かれている

【第 1 1 問】

しらかわじょう からめじょう
白川 城（搦目 城）について、正しいのはどれですか。

- ① やぶかわさがん きゅうりょう きず
矢武川左岸の丘陵に築かれている
- ② わす
「人忘れずの山」に築かれた山城である
- ③ しらかわりょう おさ きよてん
白河領の北部を抑える拠点であった
- ④ せいき ちゅうごくせいじ
14世紀ごろの中国青磁が出土している

【第 1 2 問】

かしまじんじゃ
中世白河の鹿嶋神社について、正しいのはどれですか。

- ① しらかわゆ うきけ うじがみ じゅうし
白河結城家の氏神として重視された
- ② 神社に伝来する最も古い資料は、どうきょう
銅鏡である
- ③ さいしょうじ かのんどう か どうしょう ゆうきむねひろ ほうのう
最勝寺の観音堂に懸けられていた銅鐘は、結城宗広が奉納したものである
- ④ けいだい ごじゅうのとう せんぞ めいふく いの
鹿嶋神社の境内にある五重塔は、白河結城家の先祖の冥福を祈って建てられたものである

【第 1 3 問】

下の文章の（ ）について、当てはまるものはどれですか。

大^{たい}信^{しん}中^な新^{しん}城^{じょう}にある「建^{けん}長^{ちやう} 8 年（1 2 5 6）」の銘^{めい}が刻^きま^れた（ ）
は、中世に流行^{せきぞうぶつ}した石造物^なで、亡^なく^なった人^{ひと}を供養^{くよう}する^{ため}に造^{つく}られたもの
である。

① 石灯籠^{いしどうろう}

② 板碑^{いた び}

③ 五輪塔^{ごりんとう}

④ 宝篋印塔^{ほうきやういんとう}

【第 1 4 問】

下の文章の（ ）について、当てはまるものはどれですか。

時^{じしゅう}宗^{かいそ}の開祖^{かいそ}である（ ）上^{しょうにん}人^{にん}は、白河^{おとず}を訪^まれ、小^{しょうほう}峰^{ほう}寺^じを開山^{かいざん}し
たと伝えられている。

① 親鸞^{しんらん}

② 法然^{ほうねん}

③ 一遍^{いつぺん}

④ 日蓮^{にちれん}

【第 1 5 問】

せつしょうせき きょうか
殺生石を教化したことで知られる源翁和尚が、^{げんのうおしょう} 永和^{えいわ}2年（1376）に
おもてごうなかでら
表郷中寺に開いた寺院は何とといいますか。

- ① ^{ほうぜんいん} 峰全院 ② ^{かんのんじ} 観音寺
- ③ ^{たまもいなりじんじゃ} 玉藻稻荷神社 ④ ^{じょうざいいん} 常在院

【第 1 6 問】

しらかわゆうきけ むろまち せんごく
白河結城家と室町・戦国時代について、正しいものはどれですか。

- ① ^{ゆうきむねひろ} 結城宗広と^{ちかとも} 親朝の親子は、^{なんちょう} 南朝方として最後まで戦った
- ② 結城親朝は、8つの^{ぐん} 郡・^{しょう} 荘・^ほ 保にまたがる^{けんだんしき} 検断職に任じられ、周
^{りょうち} 辺領地に強い^{えいきょうりよく} 影響力を持っていた
- ③ 分家である^{だて} 伊達氏との対立から起こった「^{ひとりばし} 人取橋^{たたか}の戦い」で、
^{せいりよく} 勢力が弱まった
- ④ ^{ゆうきよしちか} 結城義親は、^{おだのぶなが} 織田信長によってすべての^{ぼっしゅう} 領地を没収された

【第17問】

寛永4年（1627）に^{たなくらはん}柵倉藩から入封した、^{しらかわはんしゅ}初代白河藩主は誰ですか。

① ^{がも うじさと}蒲生氏郷

② ^{うえすぎかげかつ}上杉景勝

③ ^{に わ ながしげ}丹羽長重

④ ^{さかきばらただつぐ}榊原忠次

【第18問】

次の文章の（ A ）と（ B ）に当てはまるものの組み合わせはどれですか。

^{かんぽう}寛保元年（1741）の^{さんぽうりょうち}三方領地（^ち知）^{がえ}替で、^{まつだいら}松平（^{ゆうき}結城）^け家が、

（ A ）^{いほう}へ移封し、^{まつだいら}松平（^{ひさまつ}久松）^け家が（ B ）^{にゅうほう}より入封した。

① A：^{ひめじ}姫路 B：^{たかだ}高田

② A：姫路 B：^{おし}忍

③ A：^{くわな}桑名 B：高田

④ A：桑名 B：忍

【第19問】

小峰城^{こみねじょう}について、間違っている記述はどれですか。

- ① 石垣^{いしがき}と堀^{ほり}が何重にも囲み、門^{かこ}を通る道のほとんどが屈折^{くつせつ}している
- ② 「白河城御櫓^{しらかわじょう おやぐら}絵図^{えず}」は松平定信^{まつだいらさだのぶ}の時代に当時の城^{じつそく}を実測して作った
- ③ 石垣や城の建物の修理^{しゅうり}は、そのつど幕府^{ばくふ}の許可^{きょか}を得て行われた
- ④ 平成に復元^{ふくげん}された清水門^{しみずもん}は図面^{しりょう}等の資料^{しりょう}がないため、写真^{しりょう}をもとに作られた

【第20問】

次の文章の（ ）に当てはまる語句はどれですか。

小峰城^{こみねじょう}の石垣^{いしがき}に用いた大量の石材は、城の東にある（ ）などから切り出されており、（ ）のふもとには、築城工事^{ちくじょう}の安全^{きがん}を祈願して築城稲荷^{ちくじょういなり}（藤兵衛稲荷^{とうべえいなり}）と呼ばれる神社^よが建てられた。

- ① 稲荷山^{いなりやま}
- ② 羅漢山^{らかんやま}
- ③ 新地山^{しんちやま}
- ④ 小丸山^{こまるやま}

【第21問】

江戸から北に向かう奥州街道(奥州道中)において、越堀と白河の間の宿場の順路として、正しいものはどれですか。



- ① 白坂 → 矢吹 ② 白坂 → 根田
③ 芦野 → 白坂 ④ 小山 → 白坂

【第22問】

江戸時代の村政を担当した「村方三役」は、庄屋と組頭、あと一つはどれですか。

- ① 名主 ② 百姓代 ③ 代官 ④ 検断

【第23問】

江戸時代、年貢の納入が完了したことを証明する領収書の役割を果たした文書はどれですか。

- | | |
|-----------------------------------|--|
| ① 年貢免定
<small>ねんぐめんじょう</small> | ② 年貢皆済目録
<small>ねんぐかいさいもくろく</small> |
| ③ 御内書
<small>ごないしょ</small> | ④ 検地帳
<small>けんちちょう</small> |

【第24問】

次の文章の（ A ）と（ B ）に当てはまるものの組み合わせはどれですか。

越後高田藩は、白河周辺の飛び地を管理するために、当初（ A ）に、後に（ B ）に陣屋を置いた。

- | | |
|---|------------------------------------|
| ① A：棚倉
<small>たなくら</small> B：白坂
<small>しらさか</small> | ② A：浅川
<small>あさかわ</small> B：白坂 |
| ③ A：棚倉 B：釜子
<small>かまのこ</small> | ④ A：浅川 B：釜子 |

【第25問】

次の文章の（ ）に当てはまる語句はどれですか。

江戸時代の白河では、町の人が伊勢参りをするときには一町内で祝い、
（ ）まで見送った。

① 境の明神

② 南湖

③ 鹿嶋神社

④ 遊行柳

【第26問】

松平定信とその藩政について、間違っているものはどれですか。

① 50歳で藩主に就任し、白河藩政に尽力しながら全国的な規模で
文化事業を展開した

② 天明の飢饉の際、各地から米等を買集めたり、寄付者を募るなど
して、被害を最小限にとどめた

③ 藩校「立教館」を設立し、藩士の11歳以上の子息全員に入学を
命じた

④ 藩営の郷学「敷教舎」を設立し、領内の庶民への教育を行った

【第27問】

まつだいらさだのぶ 松平定信が京都に派遣し修行させ、藩の特産品として「白河焼」を製作した。こばやしかくざえもん 小林覚左衛門は、何を作る職人でしたか。

- ① ガラス ② 菓子 ③ 瓦 ④ 刀

【第28問】

まつだいらさだのぶ 松平定信の農村の復興事業について、正しいものはどれですか。

- ① 間引きの悪習をやめるよう民衆の教化を図った
- ② 子どもの養育が難しい者に、養子に出すことを推奨した
- ③ 白河藩の飛び地である桑名（三重県）から女性を移住させ、婚姻させた
- ④ 『十六善神の図』を用いて、結婚の素晴らしさを説いた

【第29問】

中世に活躍した白河結城家関連の記録を中心に、白河郡内に関する古代からの沿革や旧記などが記された歴史書はどれですか。

① 白河風土記

② 白河古事考

③ 西白河郡誌

④ 陸奥国白川領風俗問状答

【第30問】

白河関について、間違っているものはどれですか。

① 松平定信が考証を行い、「白河関」は旗宿にあったと断定した

② 松平定信が建てた古関蹟碑の表には、「古関蹟」の3字が刻まれている

③ 古関蹟碑の裏には、場所を断定した経緯が刻まれている

④ 古関蹟碑は、現在、松平定信が祀られている南湖神社に移され見ることができる

【第31問】

『^{しゅうこじっしゅ}集古十種』について、正しいものはどれですか。

- ① ^{しらかわはんない}白河藩内の古物を^{もしや}模写し、^{ぶんかざい}文化財図録として^{へん}編さんしたものである
- ② ^{しゅうろく}収録された古物は分類され、10冊にまとめられている
- ③ 収録された古物の中には、現在失われてしまったものもあり、『集古十種』でしか本来の様子を知ることができないものもある
- ④ ^{まつだいらさだのぶ}松平定信付の絵師であった^{たにぶんちょう}谷文晁が、すべての模写を行った

【第32問】

^{まつだいらさだのぶ}松平定信が^{こみねじょう}小峰城内に^{ちくぞう}築造した「^{さんかくしえん}三郭四園」の「三郭」の意味について、正しいものはどれですか。

- ① 3つの庭園
- ② 30の^{けいしょうち}景勝地
- ③ ^{さんのまる}三之丸
- ④ 3重の石垣

【第33問】

まつだいらさだのぶ ちくぞう なんこ
松平定信が築造した南湖について、正しいものはどれですか。

- ① 南湖の築造に伴い周辺に開発した学田新田がくでんしんでんの収益は、すべて南湖の維持管理いじに充てられたあ
- ② 松平定信が築造した庭園のうち、現存しているのは南湖のみである
- ③ 当初は農業用水としてのみ利用され、立ち入りは禁止きんしされていた
- ④ 松平定信が南湖を築造したが、その後荒廃こうはいし、本多忠義ほんだただよしが再び開発を行ったふたたび

【第34問】

なんこ かんとく う しらかわはんかろう よしむらまた え もんせんおん
南湖の工事監督を請け負っていた白河藩家老の吉村又右衛門宣温が、
まつだいらさだのぶ べっそう
松平定信より与えられた別荘の名前は、どれですか。

- ① しゅうすいあん 秋水庵
- ② かしんあん 可伸庵
- ③ きょうらくてい 共楽亭
- ④ こげつてい 湖月亭

【第35問】

慶応4年（1868）の戊辰戦争^{ぼしんせんそう}白河口^{しらかわぐち}の戦い^{たたか}について、正しいものはどれですか。

- ① 白河の地をめぐり、約200日間にわたり戦闘^{せんとう}が行われた
- ② 白河藩主^{しらかわはんしゅ}の阿部正外^{あべまさと(う)}が陣頭指揮^{じんとうしき}をとった
- ③ この戦いにおける新政府軍と奥羽越列藩同盟軍^{おううえつれつぱんどうめいぐん}をあわせた死傷者^{ししょうしゃ}は、1万人を超えた
- ④ 5月1日に城下南の稲荷山^{いなりやま}を中心に最大の戦闘^{せんとう}があった

【第36問】

次の文章の（ ）に当てはまる語句はどれですか。

戊辰戦争^{ぼしん}の激戦地^{げきせんち}・稲荷山^{いなりやま}に、会津藩^{あいづはん}の戦死者^{せんし}を弔う^{とむら}ため（ ）が建てられた。

- ① 忠烈碑^{ちゅうれつひ}
- ② 銷魂碑^{しょうこんひ}
- ③ 感忠銘^{かんちゅうめい}
- ④ 浮屠碑^{ふとひ}

【第37問】

まつおばしょう
松尾芭蕉の白河周辺の足取りについて、間違っているものはどれですか。

- ① あしの さかい みようじん へ はたじゆく ばく
芦野から境の明神を経て、旗宿で一泊した
- ② せきさん さんけい しらかわなかまち たず たく
関山を参詣した後、白河中町の知人を尋ね、荷物を託した
- ③ 白河からやぶき
向かう途中に、うたたねの森を訪れた
- ④ 『おくのほそ道』の中では、松尾芭蕉は白河の地で自らの句を記さ
なかった

【第38問】

まつおばしょう
松尾芭蕉に白河の名所を教え、自宅に約1週間滞在させた須賀川の俳人は
だれ
誰ですか。

- ① かわい そら
河合曾良
- ② さがらとうきゅう さたん
相楽等 躬（乍憚）
- ③ あ べ しゅうふう
阿部秋風
- ④ かうん
何云

【第39問】

下の文章の（ A ）と（ B ）に当てはまるものの組み合わせはどれですか。

（ A ）は松平 定信^{まつだいらさだのぶ}の命で銅版画^{どうばんが}を研究し、独自の手法^{どくじ}を開発した。

（ B ）は阿部家^{あべけ}の家臣で、勤務^{きんむ}のかたわら俳諧^{はいかい}を嗜^{たしな}んでいたといわれる。

- | | | |
|---|---------------------------------|------------------------------|
| ① | A : 亜欧堂田善 ^{あ おうどうでんぜん} | B : 中島山麗 ^{なかじまさんれい} |
| ② | A : 大野文泉 ^{おおのぶんせん} | B : 大谷五花村 ^{おおやごかそん} |
| ③ | A : 亜欧堂田善 | B : 大谷五花村 ^{おおやごかそん} |
| ④ | A : 大野文泉 | B : 中島山麗 |

【第40問】

次の文章の（ ）に当てはまる語句はどれですか。

明治^{めいじ}2年（1869）8月に白河県^{しらかわけん}が発足した後、（ ）に統合され、明治9年（1876）に福島県^{ふくしまけん}に統合された。

- | | | | | | | | |
|---|-----------------------|---|---------------------|---|-------------------------|---|-----------------------|
| ① | 棚倉県 ^{たなくらけん} | ② | 平県 ^{たいらけん} | ③ | 二本松県 ^{にほんまつけん} | ④ | 若松県 ^{わかまつけん} |
|---|-----------------------|---|---------------------|---|-------------------------|---|-----------------------|

【第4 1 問】

下の文章の（ ）について、当てはまるものはどれですか。

明治^{めいじ}5年（1872）3月の白河郡の第35区には、白河市街と（ ）
地区^{ふく}が含まれていた。

- ① ^{かねやま}金山 ② ^{にしごう}西郷 ③ ^{かまこ}釜子 ④ ^{ご か}五箇

【第4 2 問】

明治^{めいじ}7年（1874）の時点で、白河^{しらかわち いき}地域には小学校が何校ありましたか。

- ① 3校 ② 7校
③ 12校 ④ 44校

【第43問】

明治時代の白河の近代産業について、正しいものはどれですか。

- ① 白河郵便取扱所が大工町に置かれた
- ② 白河に火力発電所が建造された
- ③ 東北で最初の電信局が白河に開業した
- ④ 白河町で開業した最初の銀行は、第六銀行である

【第44問】

白河の馬市について、間違っているものはどれですか。

- ① 白河は江戸時代以前から良い馬を産出することで知られていた
- ② 戊辰戦争で農村が荒廃したため、馬産も一時下火となった
- ③ 大正期から昭和初期には1万頭を超える馬が白河から出荷された
- ④ 昭和10年（1935）をもって馬市は廃止された

【第45問】

めいじいこう 明治以降の交通の発展について、まちが間違っているものはどれですか。

- ① 明治20年（1887）に白河に鉄道が開通した
- ② たいしょう 大正5年（1916）に白河と棚倉を結ぶ白棚線が開通した
- ③ しょうわ 昭和9年（1934）に磐城鉄道が開通した
- ④ 昭和60年（1985）に東北新幹線が上野駅まで開通した

【第46問】

しせき 白河の史跡の保護を活動の目的とし、めいじ 明治33年（1900）に白河の有志により結成されたものは、何ですか。

- ① しらかわほしょうかい 白河保勝会
- ② しょうしかい 尚齒会
- ③ 白河史跡保存会
- ④ 白河町会

【第47問】

下の文章の（ A ）と（ B ）に当てはまるものの組み合わせはどれですか。

戦時下の暮らしとして、白河^{しらかわ}でも「金属回収^{きんぞくかいしゅうれい}令」により（ A ）のレール^{かいしゅう}などが回収された。

また、学童^{がくどう}集団疎開^{しゅうだんそかい}として、東京^{とうきょう}の荒川区^{あらかわく}・目黒区^{めぐろく}の小学生が（ B ）へ疎開した。

- ① A：白棚線^{はくほうせん} B：白河町
- ② A：白棚線 B：大沼村
- ③ A：東北本線^{とうほくほんせん} B：白河町
- ④ A：東北本線 B：大沼村

【第48問】

ビャッコイ^{おもてごう}を発見した表郷^{だれ}出身の人物は誰ですか。

- ① 山下^{やました}りん ② 鈴木貞次郎^{すずきていじろう}
- ③ 高橋^{たかはし}由一^{ゆいち} ④ 斎藤^{さいとう}正夫^{まさお}

【第49問】

近現代の白河の人物について、間違っているものはどれですか。

- ① なかやまぎしゅう あくたがわしょう 中山義秀は芥川賞作家である
- ② せきねしょうじ 関根正二はロシアに留学し、アイコン制作に生涯を捧げた
- ③ ふくだとしあき 福田利秋は版画家として活躍した
- ④ かわさき 川崎ブッペはフランス人形作家として活躍した

【第50問】

次の出来事について、年代の古い順に正しく並べたものはどれですか。

- A さいぎょう おとず 西行が白河を訪れる
- B しらかわのせき 白河関が関所として機能する
- C まつだいらさだのぶ しらかわはんしゅ 松平定信が白河藩主となる
- D まつおばしょう 松尾芭蕉が『おくのほそ道』を著す

- ① A → B → C → D ② A → D → C → B
- ③ B → A → D → C ④ B → D → A → C

